

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会ニュースレター

# ちばの地域福祉

## 10年目を迎える中核地域生活支援センター

中核地域生活支援センター連絡協議会 会長 井本 義孝

『ちばの地域福祉』が発刊されたのは平成22年6月のことで、本号で34号となりました。千葉県中核地域生活支援センターのニュースレターとして関係者に親しまれて来ました。早いもので満3年を間もなく迎えんとしています。当初、編集発行の労を担われた海匠ネットワークの皆さん、そして現在の広報委員会を担ういちばら福祉ネットの皆さんに先ず、心から御礼を申し上げます。

さて、「中核センター」が組織されてから本年10月には、10年目となります。今年の7月20日には、今までの「中核シンポジウム」を『千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会大会』と名称を改め開催すべく、既に実行委員会で準備が進められています。大会講師及びシンポジストには、厚生労働省の人権問題や生活困窮者対策に取り組みされた局長にご内諾を頂き、感謝しています。どうか「中核連協」の関係者のみならず、広く地域福祉に関連する教育・医療・福祉等の関係者を始め、地方行政に携わる多数の方々にご来場いただきたいものです。

平成16年に「千葉県福祉支援計画」が社会福祉法に基づき策定されました。この年の10月に「中核センター」が県下14圏域に夫々受託され、発足しました。現在は13圏域ですが、柏市の「あいねっと」や船橋市の「ふらっと船橋」、昨年船橋市の保健と福祉の総合相談所を受託した「さーくる」が、「中核連協」に加盟されたことは、誠に嬉しいことです。県下54市町村には、それぞれ固有の事情がある中で、いわゆる「中核センター」機能の丸うつしを求めることは困難でありましょう。しかし今日の社会情勢は、生活困窮家庭の増加、72万人に及ぶ引きこもり対策、発達障害を有する人々への対応等、地域住民と密着した「伴走型総合相談」の役割が益々重要になるのは、自明のように思われます。昨今の行政ニーズに於いては、特に「障害者」に関するもの、即ち支援事業の円滑なる運営が求められるようになりました。これらについて、「中核連協」の制度政策委員会では中核センターの果たすべき役割について討議がなされ、今後中核センターが担えることは、障害者虐待防止センターの機能発揮に寄与する。基幹相談支援センターが法の目的に沿って機能するためには、中核センターが培ってきた地域でのネットワークの活用が有効。計画支援相談、地域移行、地域定着支援は行政、事業所とも未だ手探りの状態にあり、制度を共通理解するための情報交換や協議の推進力になること等々でありました。

さて、本年10年目を迎える「中核センター」が障害者支援に精力的に関わってきたことは周知の事実であります。障害者福祉制度は、此の10年間施策が幾度も変遷し、関係者を戸惑わせてきました。しかし時代は、着実に進歩しています。「中核センター」の理念と実践は、独立した総合相談事業が、いかに有効であるか時代を先駆けるものです。今後も地味ではありますが、一步づつ着実に進んで行きたいものです。

# わたしのまちの地域福祉

## 地域で育む青少年

香取市生涯学習課 青木 司

香取市における、青少年の地域福祉、健全育成を担う団体は各種ありますが、ここでは、青少年相談員活動について紹介いたします。

千葉県知事及び香取市から委嘱を受けた 25 歳から 45 歳までの相談員は、1 期 3 年の任期で、現在香取市に 158 名います。活動内容はスポーツ大会（ヘルスバレーボール大会・綱引き大会・サイクリング大会・雪中ジュニア講習会）、春・夏・冬休みや各地区の祭礼時を中心とした防犯パトロール、体験学習（とんぼ玉作り）、子供の安全確保の取組、違法屋外広告物撤去など多岐にわたり、1 年を通して、青少年のために、また青少年と共に活動する団体です。これは、昭和 38 年に始まり 50 年の長きにわたって続けられている活動で、千葉県独自の制度です。

最もメインの行事は、8 月実施の香取市青少年のつどい大会、種目はヘルスバレーボールが行われます。4 月から準備が行われ、外部講師を招いてのルール講習会、各担当小学校に対して参加児童の選出、放課後や休日に練習を行い、当日を迎えます。大会では運営すべてを担い、また監督等に従事します。今年度は、香取市内の全 25 小学校から 47 チーム 383 名が参加しました。多いところは 1 校 4 チームものチームが出場しました。市内には参加対象の 4～6 年生は 2010 名在籍していますが、そのうちの約 20%もの児童の参加を得て実施され、市内でも有数の規模を誇る大会になっています。休日や暑い中での練習を通じて、勝ち負けだけでなく、何かをやり遂げる達成感を児童が感じられる大会となっています。

体験学習では、平成 23、24 年度にとんぼ玉作りを行いました。児童の中には 2 年連続で参加した子もいて、感想文には昨年度のとんぼ玉を大切にしまっており、今年のとんぼ玉の方が上手に出来たと喜んでいました。児童にとって、体験が重層的に重なり、厚みのある素敵な思い出となったことでしょう。

少子化により年々減少する子どもに対して、行政や民間それぞれから各種事業の募集があり、さらに塾やおけいこ事もあり、子どもの奪い合いをしているとも言われますが、選択肢が多いことはいいことで、その中で子どもにとって居心地のいい場所を見つけてもらう方が重要であると考えています。

家庭での親子関係、学校での教師児童関係とも違う、自分を認めてくれる第三者という存在で、地域に根ざし共に感動と体験を分かち合う、次代を担う青少年をより良き方向に導く手助けをする団体です。青少年相談員自身も、様々な活動を通してよりよき大人として成長できるものと思います。このような体験や活動により、子どもが健全で明るく希望に満ちた生活を送ることは、その子どもの心身の財産になります。豊かな財産を 1 つでも多く持つ子どもたちになってもらうことが、青少年の地域福祉であり、健全育成であると思います。

# ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

## 「船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会」

会長 高橋久吉さんとお話から・・・

### 「スポ・レク協会」って？！

・地域の方々と障害者がスポーツを通してふれあい、スポーツ・文化の振興を図るとともに障害者の社会参加の促進、健康増進に寄与する事を目的に設立されました。

2010年秋、千葉県で第10回全国障害者スポーツ大会が開催され、船橋市ではアーチェリー、車椅子バスケット等が実施され、ふれあい広場では様々なイベントが実施され、地域のスポーツ団体と協力し、たくさんの方々とふれあいました。

(船橋市市民公益活動公募型事業の助成を得て活動)



(財)日本障害者スポーツ協会・中級指導員  
日本体育協会公認スポーツプログラマー

### 「活動内容」は？！

- ・毎月一回会報発行 会員、関係者へ配布。
- ・スポーツ教室の開催、紹介、案内(障害者、健常者、高齢者)

(昼間：15時～・夜間：19時～) 種目や会場によりプログラムが異なります。

- ・スポーツ吹き矢・バドミントン・インディアカ・ボッチャ・ジャズダンス・ダーツ・太極拳など様々なスポーツや新種目等も増えています(ラケットテニスやバスケットピンポン等)
- ・場所は市内にある公民館や学校体育館を利用して2時間程度の活動(1種目のプログラム時間)
- ・車椅子ウォークラリー(年1回)を開催し、ゴールまでの距離をボランティアと共に楽しめます。
- ・その他スポーツ講演会の開催、障害種別を問わず福祉施設や家族会でのスポーツ指導なども定期的に行っています。

### 今後の目標

- ・船橋で障害者のスポーツ大会の開催。現在、障害者の全国大会に出場できるのは千葉市代表か千葉県代表のみなので、選手の育成をし船橋市の代表として送り出したい。
- ・高橋さんのお話から、ご自身も長年スポーツをやられており、障害者も健常者も一緒になってスポーツを楽しみたいという理念と「夢は全国大会やパラリンピックに繋がっている」と静かな口調の中にも熱い思いを感じました。



講師：宮崎恵理氏(スポーツライター)

船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会 問合せ！

船橋市薬円台 1-3-6 (高橋方) : 090-4226-9623

メール：[jyuuujikan1964@ybb.ne.jp](mailto:jyuuujikan1964@ybb.ne.jp) : fax047-467-6259



## ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

### 第5回 世界自閉症啓発デーin ちば『みんな大切な仲間です』

**【内容】**毎年4月2日は国連が定めた世界時自閉症啓発デーです。この日を中心に世界及び日本各地で自閉症に関する啓発イベントが開催されます。千葉県では、4月13日に世界自閉症啓発デーin ちばが開催されます。皆様ぜひご参加ください。

**【プログラム】**キャラバン隊いちょう公演『自閉症ってなあに！』  
(出演)千葉県立市原特別支援学校 PTA キャラバン隊  
展示会・作品展ほか  
(内容)ミニコンサート・ADHD体験コーナー・作品展・DVD上映・自閉症支援グッズ紹介コーナー・相談コーナー・パネル展示

**【日時】**平成25年4月13日(土) 11:00～17:00

**【会場】**Qiball(きぼーる)1階アトリウム (千葉市中央区中央4-5-1)

**【問合せ】**千葉市発達障害者支援センター  
(千葉市美浜区高浜4-8-3 千葉市療育センター内)  
: 043-303-6088

### 第24回心のふれあいフェスティバル～咲かそう笑顔・つなげよう絆～

**【内容】**心のふれあいフェスティバルは精神障害のある方と地域の方々との交流を深めるために行われるイベントです。当日は様々なプログラムが用意されているので、皆さんぜひご参加ください！

**【会場・プログラム】**千葉市中央公園(青空パフォーマンス・作品展示・バザー)  
千葉市文化センター(演芸大会・心のよろず相談)  
悪天候の場合、作品展示・バザーは文化センターに変更、青空パフォーマンスは中止となります。

**【日時】**平成25年5月8日(水) 10:25～14:30

**【参加費】**無料

**【問合せ】**心のふれあいフェスティバル事務局  
(〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町666-2  
千葉県精神保健福祉センター内)  
: 043-263-3891 Fax: 043-265-3963

発行元: 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局: 海匠ネットワーク(海匠圏域) 旭市イの1775 TEL: 0479-60-2578 FAX: 0479-60-2579

編集: いちはら福祉ネット(市原圏域) 市原市東国分寺台3-10-15 TEL: 0436-23-5300 FAX: 0436-23-5225

内容についてのお問い合わせは、いちはら福祉ネット(担当: 高地)までお願いします。